

2007年10月24日

新型スバル インプレッサ WRX STIを発売

富士重工業は、スバル インプレッサに、スポーツモデル「新型インプレッサ WRX STI」を追加設定し、本日より全国スバル特約店を通じ一斉に発売する。

今回発売する、第三世代を迎えた新型「WRX STI」は、歴代モデルが追求してきた、“意のままに操る楽しさ”というドライバーズカーの本質をさらに進化させるため、デザイン、エンジン、シャシー、ボディなど、すべての性能、機能を一新。水平対向エンジンを核とする「Symmetrical AWD (シンメトリカルAWD)」の素性を活かし、“操る喜び”“所有する喜び”をともに満たす、スバルが提案する新しいAWDスポーツモデルである。

新型「WRX STI」は、専用開発のエンジンやサスペンションをはじめ、マルチモード DCCD*、マルチモード VDC**など、独自のメカニズムを随所に採用。新型インプレッサで提案したSIシャシーをコンセプトとする“5ドアパッケージ”が持つ走りのポテンシャルを最大限に引き出し、卓越した走行性能と、ドライバーの意思に忠実で質感の高い走りを実現した。また、機能と美しさを融合した存在感のあるワイドボディのデザインや上質感とスポーティさを演出した室内空間など、内外装の洗練度を高めた。さらに、“快適・信頼の新しい走りと地球環境の融合”を目指すスバルのスポーツモデルにふさわしく、優れた環境性、安全性、快適性を高度にバランスさせた。

WRX STIは、1994年、富士重工業のモータースポーツ専門会社であるSTI (スバルテクニカインターナショナル) が、初代WRXをベースに、エンジンやサスペンションなどにファインチューニングを施したモデルとして発売。以来、優れた走行性能を持つ本格的ロードスポーツモデルとして支持されてきた。また、そのポテンシャルは、量産車をベースに競われるWRC (世界ラリー選手権) においても実証され、1995年から3年連続してマニファクチャラーズ部門の年間タイトルを獲得している。

なお、富士重工業では、2008年1月1日取得を目指して、新型「WRX STI」をFIA (国際自動車連盟) のグループNホモロゲーション (公認) に申請することを決定した。

今回、新型「WRX STI」の投入により、2007年6月に発売したインプレッサ「15S」, 「20S」, 「S-GT」と合わせ“新型インプレッサシリーズ”として完成。いずれも「快適・信頼の新しい走り」を実現しながら、各々の個性を活かした乗り味を備えることで、新型インプレッサの世界観をさらに広げるものである。

*ドライバーズコントロールセンターデフ

**ピークルダイナミクスコントロール



スバル インプレッサ WRX STI

(BBS 製18 インチ鍛造アルミホイール、RECARO製バケットタイプフロントシートはメーカー装着オプション)

【商品の特長】

1. デザイン

～エクステリア～

- “Pure form for driving (走りの為の純粋なデザインの追求)” をテーマとし、新型インプレスで開発した5ドアボディをベースに、ワイドボディのデザインを採用。
- フロントバンパーからボディサイド後端まで連続感のあるエッジのきいたキャラクターラインを配し光の陰影による表情の変化を演出。
- 前後バンパーとの一体感を持たせながら大きく張り出しエッジを効かせた前後フェンダーにより独自の存在感と美しさを表現。
- ボディ前後のリフトバランスの最適化、大型リヤルーフスポイラーの採用により、空力特性を向上。フロントバンパー上面と連続性を持つフロントフェンダーは、走行風を利用してボディのリフトを抑制し優れた高速安定性を実現。
- 上質な金属調塗装を施したウィングのモチーフとメッシュを組み合わせたフロントグリルを採用し精悍さとスポーティさを強調。
- ボディ同色のリヤガーニッシュの組み合わせによりワイド感を演出。
- フロントフェンダー後端にチェリーレッドのSTIロゴを配したメッキオーナメントを装着。
- フロントバンパー左右、フェンダー後端にスリットを設け、エンジンルーム内の熱気をスムーズに排出。
- マフラーにツイン・デュアルテールパイプを採用。上質感と機能美を表現。
- 力強い5本スポークとダーク調ハイラスター塗装により存在感を主張する鋳造タイプの18インチアルミホイールを採用。またメーカー装着オプションで、シャープなスポークが精悍さを表現するBBS製鍛造タイプを設定。

～インテリア～

- ブラックとシルバーを基調とした機能的なデザインで、上質な雰囲気とスポーティさを演出。
- センターパネルからドアトリムにかけて躍動的な加飾パネルを配し空間の広がり感を表現。
- 外気温、平均燃費、デジタル時計を常時表示するインフォメーションメーター、オーディオ/ナビゲーション部を、視認性や操作性に優れるセンターパネル上部に配置し機能性を追求。
- ホールド性を確保しながら乗降性にも優れるフロントバケットタイプシートを採用。表皮にアルカンターラ***とレザーを組み合わせ機能性と質感を向上。
- RECARO社と共同開発したフロントバケットタイプシートをメーカー装着オプションで設定。サイド部のサポート性を高めスポーツ走行時などでの優れたホールド性を実現。また、ハイトアジャスト機能を装備しヒップポイントを低めに設定することが可能。
- STIロゴ入りの本革巻3本スポークステアリングを採用。また、チルト機構に加えて、テレスコピック機能を装備。
- 中央にタコメーターを装備した3連式のレッドルミネセントメーターを採用。また、メーターリングにSTIのブランドカラーであるチェリーレッドを配し、上質感とスポーティさを演出。
- イグニッションキーをONにすると指針が光りながら最大値まで上昇し、速やかに戻ることにより走りへの期待を高めるスイープ機能を装備。
- その他、REVインジケーター、DCCDトルクインジケーターに加え、シフトアップインジケーターを装備。
- センタートレイ、フットランプに、赤色LEDによる照明機能を装備。またセンターコンソールに、ライト点灯時に発光するSTIロゴを装備。

***アルカンターラは Alcantara S.p.A. の登録商標です。

2. パッケージング

<5ドアパッケージの採用>

- 前後オーバーハングの短縮によりヨー慣性モーメントを低減し、高い操縦安定性を実現するとともに優れた居住性を確保。
- ホイールベースの拡大(従来比: +85mm)、前後トレッドの拡大(従来比: 前+40mm 後+45mm)により、操縦安定性、直進安定性をバランスさせた最適なディメンジョンを設定。
- ボディ形状の最適化により前後リフトバランスを整え、優れた空力特性を実現。
- 性能を向上させる構造強化や仕様装備を施しながらも、ボディの構造合理化により、従来型とほぼ同等の車両重量を維持。

3. パワーユニット

- ・緻密な制御を可能にする電子制御スロットルを採用。アクセル操作に対するリニアでレスポンスに優れた加速を実現。
- ・吸排気バルブの開閉タイミングを連続的にコントロールするデュアルAVCSを採用。低中速域のトルクを向上させるとともに、高回転域での伸びの良い回転特性を実現。また、環境性能の向上にも寄与。
- ・吸気、排気のポート形状を変更。スムーズな吸排気を促すことで燃焼効率を向上させ出力、環境性能をともに向上。
- ・気筒間の排気干渉を軽減し排気ポートからターボチャージャーまでの排気効率を高め、全回転域でのトルクとレスポンスを向上。
- ・ターボチャージャーのコンプレッサー形状を変更。吸気効率を高め、加速時の優れたレスポンスとスムーズな加速特性を実現。
- ・インテークマニホールドに、吸気の流れをコントロールして燃焼効率を高めるTGV（タンブル・ジェネレーテッド・バルブ）を内蔵。エンジン始動直後の燃焼効率を向上。
- ・排気ポートに空気を強制導入し未燃焼ガスを燃やす2次エアシステムを採用。冷態時の有害物質の削減と触媒の早期活性化を促進。
- ・シリンダーブロックをはじめとする各部の強度を向上させ耐久性を確保。
- ・マフラーを横置きにレイアウトし容量を拡大。排気効率の向上と消費性能を両立。
- ・メタル触媒とセラミック触媒を組み合わせた三元触媒を採用。環境性能と出力性能を両立。
- ・熟成を重ねた自社開発の6速マニュアルトランスミッションを採用。1速ギヤのトリプルコーンシンクロ化やシフトスリーブ形状の変更などによりフリクションを低減し、さらにスムーズなシフトチェンジを実現。

4. ドライブトレイン

- ・フロントデファレンシャルギヤに、駆動入力に対する応答性に優れたトルク感応型LSDを採用。またリアデファレンシャルギヤに、スムーズな駆動配分を行うトルセンLSDを採用。
- ・ドライバーが任意で3つの走行特性を選択できるSI-DRIVE(SUBARU Intelligent Drive)を採用。「Intelligent（インテリジェント）」モードでアクセルを踏み込み続けることで最大トルクが発揮できる出力特性に自動的に制御。
- ・マルチモードDCCDを採用。センターデフの差動制限を自動または手動で調整できるDCCDに、新たに、ドライバーの好みや走りに合わせ自動制御を3段階に設定。ドライバーの意思に忠実な操縦安定性とAWDならではの車両安定性を高い次元で実現。
- ・マルチモードVDCを採用。シンメトリカルAWDの優れた走行安定性をアシストする車両挙動制御装置のVDCをマルチモード化。ドライバーのコントロール範囲を広げ走りの愉しさを向上させながら高度な安全性を両立。

<マルチモードDCCD>

AUTOモード	あらゆる走行条件をカバーするオールラウンドタイプの制御モード
AUTO[+]モード	トラクションを重視し、センターデフの差動制限を強くした、滑りやすい路面の走行に適した制御モード
AUTO[-]モード	ステアリング応答性を重視し、センターデフの差動制限を弱めた、俊敏で軽快な走りに適した制御モード
マニュアルモード	手動操作により差動制限力の調整が可能なモード

<マルチモードVDC>

NORMALモード	ABS、TCS、VDCすべての制御を行う、通常使用するモード
TRACTIONモード	TCS、VDCの機能を制限し、ノーマルモードよりシステムの介入タイミングを遅らせた制御を行う。エンジンのトルクダウン制御を行わないのでスポーツ走行時などに適したモード
OFFモード	ABS制御のみ行う、深い雪道やぬかるみなどでの緊急脱出時に使用するモード

マルチモードVDCは、優れた機能を発揮する車両挙動安定装置ですが、あくまでもドライバーの運転を補助するものです。

5. シャシー

- ・「SIシャシー(SUBARU Intelligent-chassis)」のコンセプトに基づき、路面の凹凸をしなやかに吸収し、タイヤの接地性を大幅に向上。優れたトラクションと上質な乗り心地を両立させるとともに、ステアリング操作に素直に反応する気持ちの良い走りを実現。
- ・エンジン搭載位置を前端部で22mm、デフセンター部で10mm下げること、水平対向エンジンの特性をさらに活かした低重心化を図り走行安定性を向上。
- ・フロントサスペンションに倒立ストラット式サスペンションを採用。トレッド幅による旋回安定性の向上に加え、対地キャンバーなどジオメトリー最適化によりタイヤの接地性を向上。
- ・専用の鍛造アルミロアアームやスタビライザーにより横剛性とロール剛性を最適化。ステアリング操作に対する優れた応答性を実現。
- ・リヤサスペンションに新開発のダブルウィッシュボーンサスペンションを採用。対地キャンバーなどジオメトリー最適化によりタイヤの接地性を大幅に向上。
- ・サスペンションのリンクをサブフレームを介してボディに取り付けることで、上質な乗り心地と高い静粛性を実現。
- ・ブレーキは、ブレンボ社と共同開発した専用ベンチレーテッドディスクブレーキを採用。高い動力性能に見合った高度な制動性能を実現。また、超低膨張タイプのブレーキホース、タイロッド式ブースターなどの採用により、応答性、コントロール性を向上。
- ・EBD付スーパースポーツABSを採用。従来の横Gセンサーを用いた制御に加え、舵角センサ、ヨーレートセンサ、圧力センサ情報からの制御を追加。また、DCCDとの協調制御により、きめ細かな前後左右の独立制御を行い、優れたライントレース能力と高い制動性能を実現。
- ・標準タイヤには、ドライ&ウェット路面でのグリップバランスに優れた245/40R18サイズのブリヂストンRE050Aを採用。
- ・踏み込み速度感応型のブレーキアシストを採用。
- ・スムーズな坂道発信を可能にするヒルスタートアシストを採用。

6. ボディ

- ・各ピラーまわりのフレームを環状に固めた上で、前後ドアの開口部全体もひとつの輪に見立てて環状に強化するスバル独自の環状力骨構造を採用。
- ・フレーム構造の合理化を図るとともに骨格部材に590Mpa級を中心とした高張力鋼板を使用することで、高いボディ剛性とボディ骨格部で従来型比約11kgの軽量化を実現。
- ・フロントピラー下部とアッパーフレームを繋ぐ補剛を施し、ストラットの支持剛性を向上。
- ・Dピラー上部に補剛を施しリヤゲート開口部の剛性を向上。

7. 安全

- ・基本のフレーム構造をさらに進化させることで、衝突時のエネルギーを効率的に吸収、分散させ、前面、側面、後面において、さまざまな形態の衝突における高度な衝突安全性を実現。
- ・衝撃を均等に分散させるよう骨格を配置したフロントフードなどにより、衝突時の歩行者の被害を軽減。
- ・側面衝突事故時の乗員の傷害軽減に大きく貢献する、SRSサイドエアバッグおよびSRSカーテンエアバッグを標準装備。
- ・リヤ中央席に3点式シートベルトを採用。
- ・前面衝突時にドライバーの下肢障害を軽減するセイフティペダルを採用。

8. 環境

- ・エンジンの基本性能の向上やボディ構造合理化による軽量化などを図り、走行性能を高めながら「平成17年排出ガス基準50%低減」を達成するとともに燃費性能を向上。

9. ユーティリティ

- ・新開発のダブルウィッシュボーン式リヤサスペンションの採用によりラゲッジスペースの張り出しを抑制し、カーゴルームのユーティリティを向上。ゴルフバッグ2個の横積み、または機内持ち込みサイズのキャリーバック5個の積載が可能。
- ・サッシュ付きドアの採用によりドア開口面積を広げるとともにリヤドア開度を広げ乗降性を向上。
- ・500mlのペットボトルが収容可能なドリンクホルダーを備えたドアポケット、CD8枚が収容可能なコンソールボックス、小物を置くのに便利なセンタートレイなど、豊富な収納スペースを確保。

10. その他装備

- ・ポップアップ式ヘッドランプウォッシャーを装備。
- ・盗難警報装置、およびイモビライザーを標準装備。
- ・ガスダンパー付エンジンフードを標準装備。
- ・キーレスアクセス&プッシュスタートを装備。
- ・オーディオ一体型HDDナビゲーションシステム (SUBARU G-BOOK ALPHA対応) をメーカー装着オプションで設定。

【販売計画】

450 台 / 月

【メーカー希望小売価格<消費税含む>】()は消費税含まず

[単位：円]

車種			価格	ボディカラー
インプレッサ WRX STI	AWD	6MT	3,654,000(3,480,000)*1	オブシディアンブラック・パール ピュアホワイト スパークシルバー・メタリック ダークグレー・メタリック ライトニングレッド*2 ミッドナイトブルー・パール*3 WRブルー・マイカ

全車、ABS、デュアルSRSエアバッグ、SRSサイドエアバッグ+SRSカーテンエアバッグを標準装備

*1: 鋳造 18インチ × 8½Jアルミホイール(ハイラスター塗装)、バケットタイプフロントシート(アルカンターラ/本革)等を装備。また、装備を簡略化した仕様[鋳造 17インチ × 8JJアルミホイール、バケットタイプフロントシート(ファブリック)等]は 210,000 円安(消費税含む)

*2: 31,500 円高(消費税含む) *3: 新色

なお、商品についてのお問い合わせは、最寄りの販売会社、または SUBARU
お客様センター「SUBARU コール」0120-052215 までお願いいたします。